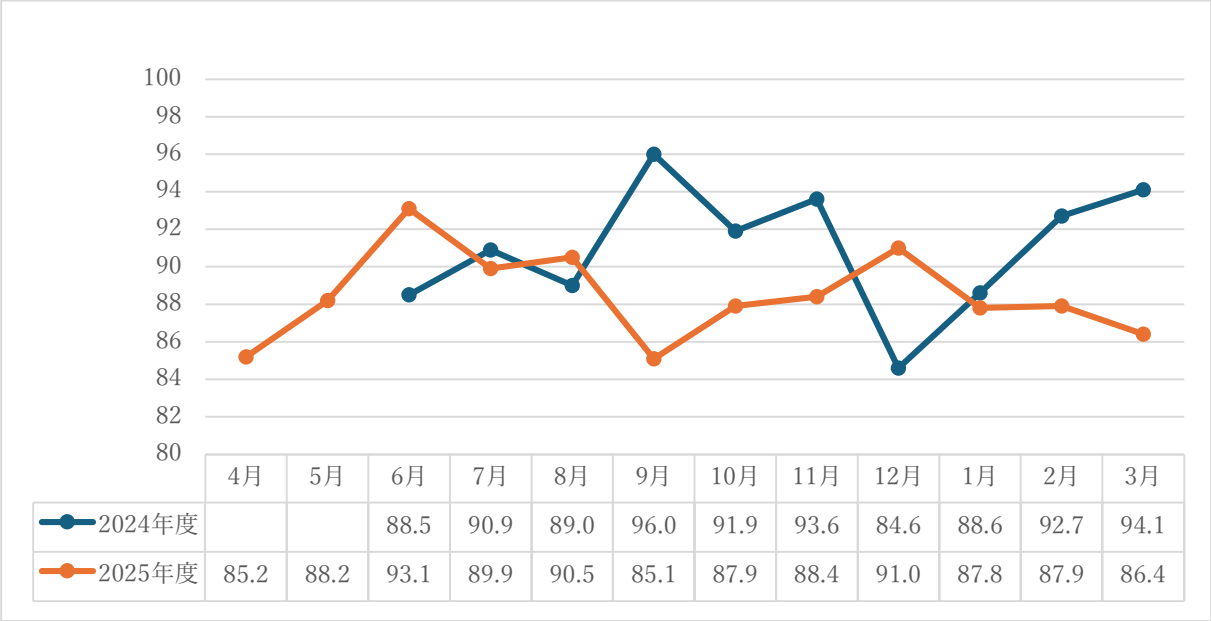


リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率

【指標の定義】

分子：肺血栓塞栓症の予防対策が実施された患者数
分母：肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数
単位：％

【当院の実績】



※2024 年 6 月から集計開始となったデータです。

【指標の説明】

当院では、手術の術式におけるリスクレベルによって、患者さんへの対策を決めるのではなく、患者さん個人の状態における患者さんの肺血栓塞栓症のリスクを評価をし、必要となる対策を実施しております。

そのため、リスクレベルが「中」以上の手術であっても、患者さんのリスクが低い場合には予防策を実施していないことがあります。

複数の学会から合同で出されている「肺血栓塞栓症および深部静脈血栓症の診断，治療予防に関するガイドライン」においても、患者さんの状態の評価を行い、予防対策を実施することが明示されています。

また、患者さんのリスク評価や肺血栓塞栓症の予防対策の実施状況については、医療の質・安全管理部によって毎月モニタリングされており、患者さんに安全・安心な医療を提供できるように取り組んでおります。